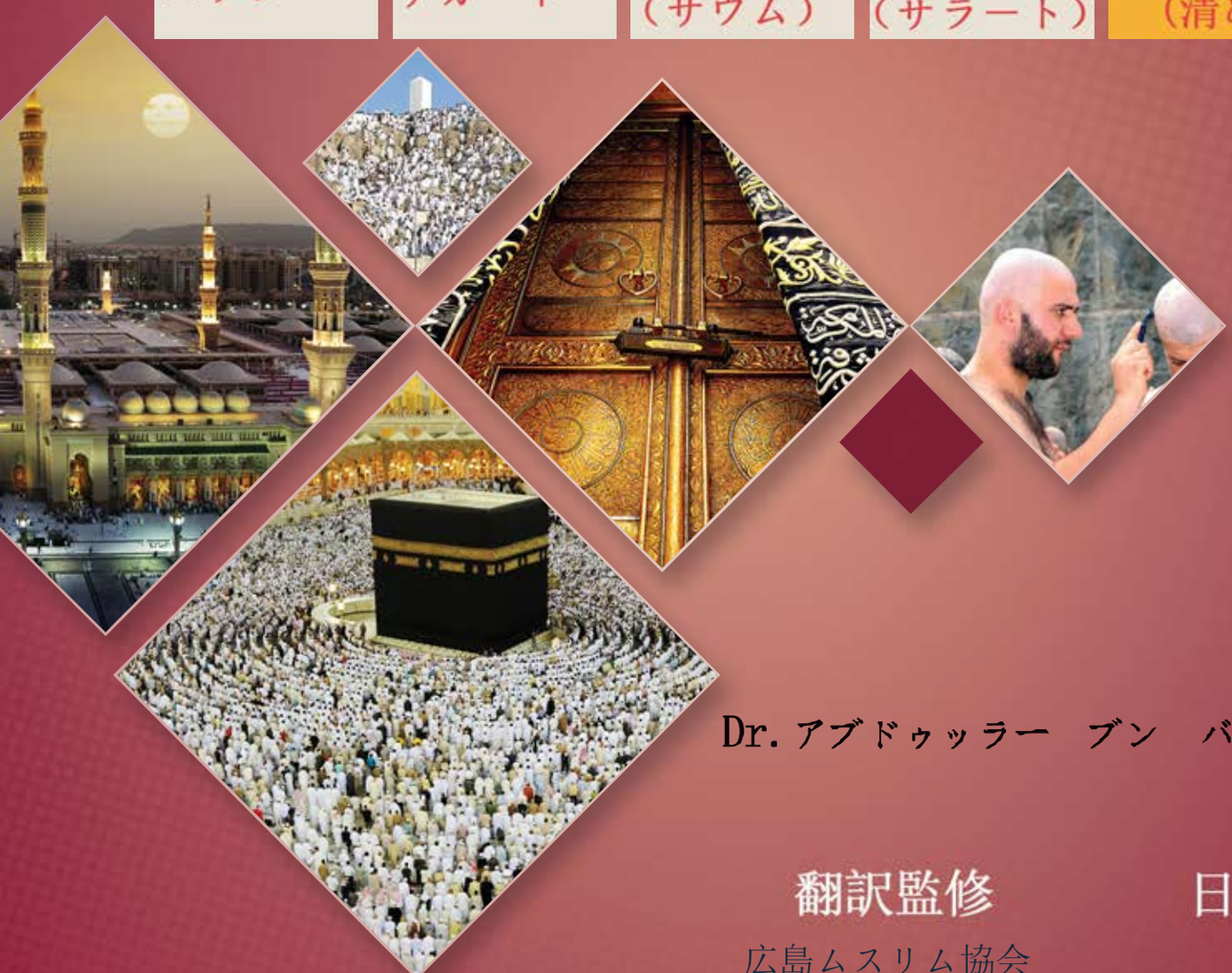
図解信仰行為の法学

容易にイスラーム諸規則を教える

ハッジ	ザカート	斎戒（サウム）	礼拝（サラート）	タハーラ（清め）



Dr. アブドゥッラー　ブン　バーハムマーム

翻訳監修
広島ムスリム協会

日本語訳者
あかね

ハッジとウムラの規則ê

https://www.al-feqh.com/ja

第2課

ハッジとウムラの規則

目次

ハッジ
ハッジの定義
ハッジの規定と徳
ハッジの条件
代理のハッジ
ウムラ
ウムラの定義
ウムラ規定と徳

ハッジ

ハッジの定義

ハッジの語義：
意図、向かうこと

ハッジの法的意味：
特定の時期に特定の儀礼を行うために
マッカを目指すこと。

ハッジの規定と徳

ハッジは、イスラームの５柱の一つです。至高なるアッラーは、信者にそれを義務としました。クルアーン{この家への巡礼は、そこに赴ける人びとに課せられたアッラーへの義務である。背信者があっても、まことにアッラーは万有に（超越され）完全に自足されておられる方である。}[イムラーン家章９７節]

預言者はおっしゃいました。（イスラームは、５つの（柱）うえに建てられました。：それは、アッラー以外に神はないと証言し、ムハンマドがその僕であり使徒であると証言するシャハーダ、礼拝を行うこと、ザカート（喜捨）を出すこと、アッラーの館へのハッジ（巡礼）、ラマダーン月の斎戒です）。（合意の伝承）

アッラーのみ使いはおっしゃいました。（巡礼を行い、醜行）（ラフス：卑猥で醜い行為）（を行わず、アッラーへの不服従）（フスーク：アッラーの命に叛くこと）（を行わなかった者は、彼の行った罪が赦されます。）（テルミズィーの伝承）

ハッジは、一生に一度の義務です

https://www.al-feqh.com/ja

ハッジの条件

１．イスラーム

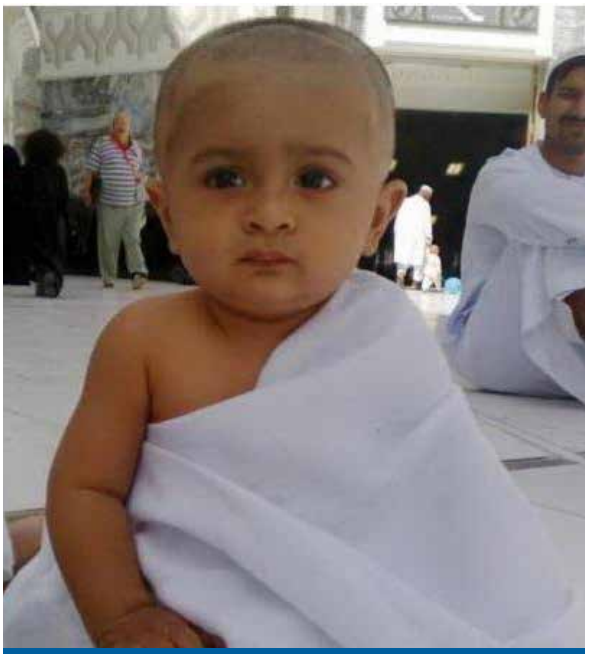
不信仰者にはその義務はありませんし、許されていません

２．理性

理性を失った者には義務となりません。預言者はおっしゃいました。（筆（義務）は次の３人から引き上げられました。それは、目覚めるまでの眠り人、大人になるまで（子供を作る事が出来ること）の若者、理性が戻るまでの脳障害者です。）（アブー・ダーウードの伝承）

３．成熟期

まだ成熟していな者には義務ではありません。もし巡礼を行った時にはそれは許されますが、イスラームの義務としての巡礼を果たしたことにはなりません。それは任意の巡礼となります。イブヌ・アッバースは、伝えています。（一人の婦人が子供を持ち上げ、預言者にこの子に巡礼がありますかと尋ねました。すると預言者は、はい、しかし報酬は貴女にありますと答えました。）（ムスリムの伝承）



子供の巡礼は許される

４．自由人

奴隷には義務でありません。預言者の次の言葉によります。（どんな奴隷でも巡礼を行い、その後に自由の身分になった場合は、もう一度巡礼しなければなりません）。（バィハキーの伝承）

５．能力

それは食料（巡礼に必要な食べ物や飲み物や衣服）と旅費（旅での自動車や飛行機や船などの乗り物）の存在です。クルアーン{この家への巡礼は、そこに赴ける人びとに課せられたアッラーへの義務である。}[イムラーン家章９７節]

6.女性と同行するマフラム（女性の身内にあたる男性で、父や兄弟や夫や義父や乳兄弟の父や兄弟など。）

これはイブヌ・アッバースの伝える次の伝承によります。私は、預言者が次のように説教されたのを聞きました。（女性は、マフラムと一緒でなければ旅行すべきでありません。）すると一人の男が立ち上がって言いました。（アッラーのみ使い様、私の妻は巡礼に出かけましたが、私はあちこちの戦場に出かけなければなりません。すると預言者は、行きなさい。そしてあなたの妻と一緒に巡礼しなさいとおっしゃいました。）（合意の伝承）

代理によるハッジ

老齢によりあるいは回復の望みのない病、あるいは乗り物に乗る事が出来なくらい体が弱いためにハッジとウムラが出来ない者は、代わりにハッジとウムラを行ってもらうべきです。それにより彼はその報酬を得る事が出来ます。例えハッジやウムラの代理人がイフラームになった後、病気が治ったとしてもです。アルファドル・イブヌ・アッバースは伝えました。ハスアム族の婦人が言いました。（アッラーのみ使い様、私の父は、巡礼でアッラーの義務を果たすことになりましたが、高齢の老人で、ラクダの背に乗る事が出来ません。すると預言者は、彼の代わりに巡礼をしてやりなさい。とおっしゃいました。）（テルミズィーの伝承）

https://www.al-feqh.com/ja

https://www.al-feqh.com/ja

巡礼が出来ない男性

代理で巡礼を行う者には二つの条件があります。

1．前述のハッジの条件を満たしていること。

2．代理人は、すでに自分のための巡礼を済ませていること。もし自分ために巡礼を済ませていなくて他の人の巡礼を行った場合は、他の人の巡礼は無効になり、それは自分のための巡礼になります。イスラームの巡礼として数えられます。その根拠は、イブヌ・アッバースの伝える次の伝承によります。（預言者は、一人の男が、ラッバイカ・アン・シュブルマ（シュブルマに代わってアッラーあなたの御前にいます。というのを聞いて、シュブルマとは誰ですか？と尋ねました。彼は私の兄弟です。あるいは私の親類ですと答えました。預言者は、自分の巡礼は終わっていますか？と尋ねると、いいえ。と答えたので、まず自分のために巡礼をしなさい。その後で、シュブルマのために巡礼しなさ。とおっしゃいました。）

（アブー・ダーウードの伝承）

https://www.al-feqh.com/ja

https://www.al-feqh.com/ja

ウムラ（小巡礼）

ウムラの規定

ウムラの語義：

訪問.

ウムラの法的意味:

聖なる館に決められた儀礼を果たすためにいつでも訪問すること。

ウムラの規則と徳

ウムラは、ハッジのように一生に一度の義務行為です。預言者はおっしゃいました。（イスラームは、アッラー以外に神は無く、ムハンマドがアッラーの使徒であると証言し、礼拝を行い、ザカートを出し、ハッジとウムラを行い、ジャナーバ（）にはグスル（沐浴）を行い、ウドゥー（清め）を十全に行い、ラマダーン月の斎戒を行うことです）。（イブヌ・フザィマの伝承）

アッラーのみ使いは、おっしゃいました。（ウムラは次のウムラまでの間にあるもの（罪）の償いです。またハッジ、それには天国以外の報酬はありません。）（合意の伝承）

https://www.al-feqh.com/ja